

AU 2020 企画ワークシート(提出前のドラフト作成版)

このワークシートは、AU の企画書を提出する前の準備として使用ください。以下に、AU のクラス/記事の企画提出に必要な項目を書き出しました。ここでまずはドラフトを作成いただき、必要に応じて修正していくことができます。全ての内容が確定しましたら、オンラインから提出してください。

何かご不明な点がございましたら、[AU の企画募集\(CFP\)ページ](#)にアクセスし、『2020 CFP Guide』をダウンロードしてください。

※「応募する」をクリックすると Autodesk Account ページが表示されサインインを求められます。サインインが初めての方はまずはアカウント作成をお願いします。プロファイルの変更や提出内容の変更など全て Autodesk Account へのサインが求められます。

自己紹介

あなたの経歴は重要な情報です。どのような専門知識や経験をお持ちかがわかり、この情報は AU、Autodesk Knowledge Network、その他のオートデスク フォーラムなど、オートデスクの各種コミュニティで公開されます。また、ご自身の Autodesk Account にもリンクされます。コミュニティ メンバーに、あなたのとなりや、これまでの経験を通じてどのような見地をお持ちか、また、業界に携わってこられたのかをご記入ください。現在の職位や歴史、さらに職業上の受賞歴、出版物、学歴なども含めてください。(段落のみで記載ください。箇条書きやリストは使用しないようにお願いします。スペースを含めて最大 1,000 文字)

注:この経歴は主たる講演者または著者のみを対象としています。あなたがそうでない場合は、主たる講演者/著者の名前と経歴をここに記載してください。

中村洋丈

中日本高速道路株式会社 東京支社秦野工事事務所 工事長， 博士（工学）
日本道路公団入社後、新東名高速道路（静岡県富士市）の建設や、NEXCO 総研において地盤工学に関する研究に従事。NEXCO の ICT 土工の基準策定に関わる。現在は、新東名高速道路（神奈川県松田町・山北町）において、大規模盛土工事や、長大トンネル、エクストラドーズド橋などの工事を担当。工事長として ICT や BIM/CIM により、受発注者間の業務効率化や工事管理の高度化に取り組む。

柳川正和

清水建設株式会社 土木技術本部 イノベーション推進部 CIM グループ長
土木技術本部設計部で都市部の高速道路新設工事や大規模造成工事の実施設計を担当。2017 年の CIM 推進グループ発足時より所属し、社内の CIM の導入・推進を担当。2019 年 4 月より現職。
土木学会三次元モデルを活用した建設生産性向上研究小委員会所属

タイトル

新東名川西工事における三次元データをフル活用した工事管理の高度化

例:

- 規格開発のための標準化:多忙な CAD マネージャーのためのハウツー
- AutoCAD Map 3D の高度なクエリ
- Dynamo および Revit の 8 年分技術真価を 60 分でまるごと理解
- ジェネレーティブ デザインを使用した自転車コンポーネントの最適化

- 新東名川西工事の取り組み
- 3 次元データによる現場の可視化
- コミュニケーションツールとしての活用と現場管理の効率化・高度化
- 受発注者間の情報共有と実施環境の構築

内容説明

クラスまたは記事で取り上げる内容について、また参加者が何を学ぶことができるのかを説明してください。この内容がどのような業界課題の解決に役立つかを具体的に記載してください。業界の慣行やワークフローを改善するためにソフトウェアを使用する場合は、製品名を含めてください。あなたが克服した課題や、実現したソリューションの利点を定量的に示すため、簡単な統計または指標を含めることもできます。例えば、「自動化により、プロジェクトの引継ぎ作業を 90% 効率化し、データ検索に費やす時間を 50% 短縮することができました」などです。(段落のみ。箇条書きやリストは使用しないでください。スペースを含めて最大 1,000 文字)

新東名川西工事は、約 300 万 m³ の大規模盛土、約 26 万 m² の広範囲な工事エリアを有する工事である。この中で、工事現場の可視化、盛土施工の効率化・土量の管理、また材料のトレーサビリティなど、多くの課題を抱えている。ICT フル活用工事として受発注者間のやりとりを効率化・高度化することを目指している。その中で、BIM/CIM や IT ツールを活用した 3 次元データによる可視化、BIM/CIM モデルのコミュニケーションツールとしての活用、現場管理の効率化・高度化、CDE 環境の活用など、これまでの受発注者の垣根を超えた「同じプロジェクトを進めるメンバー」としての各種事例を紹介する。

応募形式

これらのコンテンツと学習説明資料の中で、あなたがプランしている形式に最も当てはまるものはどれですか。

1 つ選択してください。

- ハンズオンラボ**: 参加者が自分のコンピューターで実際に操作できるように、ソフトウェアの操作を手順ごとに示します。
- 講義形式の業界トーク**: 導入事例、業界の見通し、革新的なアイデアや経験などを取り上げることができます。
- トレーニング デモ**: 製品のワークフロー、プロセス、ヒントやコツなどに関する細かい説明を提供するのに最適です。

- **専門家によるパネルディスカッション**: 業界に関する特定のトピックについて、さまざまな見解や意見を紹介することができます。
- **ラウンドテーブルのホスト**: 参加者と一緒に話し合いながら、学習や考察を進めていきます。これは講義形式ではなく、限定された人数の参加者が相互に意見交換を行うものです。
- **記事の執筆**: 今年導入される新しい形式です。専門知識を AU に文書として提供したい場合は、記事を作成するための企画をお送りください。

学習目標

学習目標は、学習するにあたり軸となる目標(学習者が AU のクラスまたは記事から習得する知識またはスキル)を評価するためのものです。明確に定義された学習目標は、コンテンツに興味を抱いたメンバーがその内容を正しく理解するために役立ちます。

効果的な学習目標を記載することは、企画が受け入れられるかどうかを大きく左右する可能性があります。「学習」、「理解」、「把握」、「使用」、「知る」などのあいまいな動詞の使用は避けてください。代わりに、「説明」、「特定」、「レンダリング」、「解決」、「差別化」、「測定」、「作成」など、具体的で能動的な動詞を使用してください。学習目標は、「このクラスに参加すると、またはこの記事を読むと、次のことが可能になります」といったフレーズに続くものである必要があります。(それぞれ、スペースを含めて最大 125 文字)

学習目標の記載に関する詳細については、[AU の企画募集\(CFP\)ページ](#)から『2020 CFP Guide』をダウンロードしてください。

例:

- 会社の標準を作成するためのテンプレートの設計
- 日常的な CAD 管理のベストプラクティスの描写
- 商業用建物モデルの 10 秒間のアニメーション ウォークスルーのレンダリング

1. BIM/CIM の単なるモデリングを超える活用方法を学ぶ
2. BIM360Docs の受発注者での活用方法を学ぶ
3. 視覚化によるコミュニケーション手法の事例説明
- 4.

コンテンツの概要

クラスまたは記事について簡単に要約しましょう。具体的かつ簡潔にまとめてください。概要は、説明を短くしたのでもかまいません。(スペースを含めて最大 155 文字。リストは使用しないでください)

例:

- Fusion 360 が自宅で新製品の設計にどのように役立つかをご覧ください。デザイン、モデリング、レンダリングを改善するための基本を学びます。

モデリングと、その活用、可視化による効果の大きさを説明します。また、BIM360Docs を用いた受発注者間のコミュニケーションの事例をご覧ください。

関連トピック

コンテンツではどのような関連トピックを取り上げますか？レビュー担当者はトピックを検索して企画の候補を絞り込むため、トピックは慎重に選びましょう。また、オンラインの参加者がどのようにコンテンツを検索するかも考慮しましょう。『2020 CFP Guide』を参照して、オートデスクで取り上げられるトピックの領域にはどのようなものがあるか確認してください。このワークシートの最後にあるトピックのリストから、3つまで選択をお願いします。

1.クラウド コラボレーション
2.可視化
3.バーチャルリアリティ

キーワード

AU コミュニティに属する他のユーザーがあなたの学習コンテンツを見つけやすくなるように、クラスまたは記事の内容、および業界のトレンド、ワークフロー、専門分野との関連性を示すキーワードをリストから選択してください。このワークシートの最後にあるキーワードのリストから、10個まで選択をお願いします。

1.コラボレーション	6.データ管理
2.建設現場の安全	7.モデリング
3.シミュレーション	8.バーチャルリアリティ
4.交通	9.クラウドサービス
5.BIM	10.可視化

対象となる参加者の定義

あなたの知識やコンテンツを最大限に活用できるのはどのような方々ですか？1つ選択してください。

- 製品ユーザー
- マネージャー
- ビジネス リーダー
- ソフトウェア開発者

参加者の特徴

対象となる参加者について、ご自身の言葉で説明してください。業界、専門分野、役職、専攻、興味、目標などをあてはめてください。(スペースを含めて最大 125 文字。リストは使用しないでください)

例：

- CAD マネージャーおよび CAD 管理の責任を持つ上級ユーザー
 - 可視化技術を向上させたい自動車エンジニア
-
- BIM マネージャーおよび BIM モデラー
 - 第 3 者の影響を大きく考慮する必要のあるプロジェクト関係者

フォーカスコンテンツ

クラスまたは記事でフォーカスしているものは何ですか？1つ選択してください。

- 新しいソフトウェアを使い始める
- ソフトウェアの応用
- 業界の慣行やワークフローを探る
- 業界またはプロジェクトの導入事例
- リーダーシップとイノベーション

応用・最適化

参加者は、あなたが共有する知識をどのように応用できると思いますか？1つ選択してください。

- 経営管理
- プロジェクトの実行
- プロジェクト管理
- 技術管理
- 業界の革新

参加者の職業

クラスまたは記事の内容から参加者として最も適すると思える方はどのような方ですか？

このワークシートの最後にある職業のリストから、5つまで選択してください。

1.CAD マネージャー
2.土木エンジニア
3.建設エンジニア
4.道路/高速道路エンジニア
5.

専門知識のレベル

企画しているコンテンツに適したスキルまたは経験の水準を教えてください？1つ選択してください。

- 初心者**: 業界または製品についての経験が少ない方向け。
- 中級者**: 業界またはその製品とツールについて、ある程度の経験がある方向け。
- 上級者**: 業界での実務経験が豊富で、高度なトレーニングや考察を求めている方向け。
- 指定なし**: トピックに興味があるすべての方を対象とし、スキルには基づかない。

必要なスキルまたは知識

クラスを受講する前や記事を読む前に必要とされるスキルや知識を記載してください。

(スペースを含めて最大 350 文字。箇条書きやリストは使用しないでください)

例:

- このクラスを最大限に活用するには、Revit ユーザーとして、参照図面、テーブル制約、およびパラメータを使用する能力をすでに持っている必要があります。

- AutoCAD MEP ユーザーとして、マルチビュー パーツのシンボルおよび注記面の編集経験が必要です。

AutoCAD、Revit、Civil3D などの基礎的モデリング知識と、Navisworks や InfraWorks などの統合に関する知識を有する必要があります。

最も関連性が高いオートデスク製品

該当する場合は、コンテンツに含まれる最も関連性の高い/主要なオートデスク ソフトウェア製品を示してください。用意されたメニューから、1つ選択してください。

1.BIM360Docs

他の関連するオートデスク製品

コンテンツで複数の製品を参照する場合、追加の関連製品を用意されたメニューから 3つまで選択してください。該当しない場合は、空白のままにしてください。

1.AutoCAD
2.Navisworks
3.InfraWorks

最も関連性が高い業界

対象となる参加者に最も適した業界はどれですか？以下に示す業界のリストから、1つ選択してください。

- | | | | |
|--|---|------------------------------------|-------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 広告、出版、グラフィック デザイン | <input type="checkbox"/> ライフサイエンス関連 の製造 | <input type="checkbox"/> 映画、テレビ | <input type="checkbox"/> プロセス製造 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 建設エンジニアリング | <input type="checkbox"/> 航空宇宙装置、防衛装備 | <input type="checkbox"/> その他製造業 | <input type="checkbox"/> 自動車、その他の輸送 |
| <input type="checkbox"/> 土木インフラ オーナー | <input type="checkbox"/> 建物オーナー | <input type="checkbox"/> 建築設計 | <input type="checkbox"/> 土木エンジニアリング |
| <input type="checkbox"/> エネルギーと天然資源 | <input type="checkbox"/> 建設 | <input type="checkbox"/> 建築関連製品、製造 | <input type="checkbox"/> 教育 |
| | | <input type="checkbox"/> コンシューマ製品 | <input type="checkbox"/> 産業用機械 |
| | | <input type="checkbox"/> ゲーム | <input type="checkbox"/> ソフトウェア開発 |

AU のトピック

3D プリント	CAD 管理、IT	地理空間
積層造形	クラウド コラボレーション	ハイブリッド製造
アニメーション、VFX	計算設計	水文学、雨水管理
建築サービス	データ管理	工業化された建設
人工知能(AI)	設計	インフラストラクチャ ワークフロー
拡張現実(AR)		モノのインターネット(IoT)
AutoCAD、一般設計	多様性	土地開発、都市計画
オートメーション	ドキュメント管理	機械学習
自動車、インダストリアル デザイン	電気機械技術	機械加工
建築物設計	エンジニアリング ドキュメント	MEP、構造組立
BIM/CIM	施設管理	モデル コーディネーション
建物運営	現場管理	運用、メンテナンス
経営管理	ジェネレーティブ デザイン	プラント設計

施工前準備
プレハブ工法
製品設計
製品ライフサイクル管理
プロジェクト業務
プロジェクト管理
アリティ キャプチャ

リスク管理
シミュレーション
ソフトウェア開発
ソフトウェアのライセンスと配置
ソフトウェアトレーニング
構造エンジニアリング
切削造形法

持続可能性
交通
公共事業、エネルギー、天然資源
バーチャルリアリティ(VR)
可視化

参加者の職業リスト

3D アーティスト/アニメーター
建築家
アート ディレクター
BIM/VDC マネージャー
建物オーナー
建築物維持管理エンジニア
CAD マネージャー
CAE アナリスト
土木エンジニア
建設エンジニア
施工管理者
設計エンジニア
詳細設計者
製図者
排水/水理エンジニア
教員/管理者
電気/計装エンジニア
環境エンジニア
環境安全衛生(EHS)ディレクター/マネージャー
見積もり担当者
見積もり担当者(MEP)
企業経営者/幹部
施設管理者
フィールド エンジニア
現場監督
FX スーパーバイザー

ゲーム デザイナー
地質工学エンジニア
政府官公庁/管理責任者
インダストリアル デザイナー
イノベーション マネージャー/ディレクター
インテリア デザイナー
屋内建築設計者
IT マネージャー
土地/都市計画者
造園家
機械オペレーター
製造エンジニア
マーケティング/営業
マーケティング/事業開発ディレクター
機械、電気、配管・給排水設備(MEP)エンジニア
機械エンジニア
MEP 詳細設計者/製作者
その他
パートナー/販売業者
プラント設計者
配管エンジニア
プレキャスト/コンクリート詳細設計者
施工前ディレクター/マネージャー
プロデューサー

プロダクト エンジニア
プロダクト マネージャー
生産管理者
プログラマー/エンジニア
プロジェクト統制マネージャー/ディレクター
プロジェクト エンジニア
プロジェクト マネージャー
品質管理責任者
不動産デベロッパー
道路/高速道路エンジニア
ソフトウェア開発者
鉄鋼詳細図面作成者
構造設計実務者/製作者
構造エンジニア
学生
現場責任者
測量士
測量士/地図製作者/GIS
システム エンジニア
教師/教授
テクニカル コンサルタント
技術管理者
トレーナー
交通プランナー
都市計画者
ビジュアライゼーション デザイナー

キーワードリスト

3D レンダリング
農業
建築設計
ビッグ データ
放送
建物性能分析
化学薬品、医薬品
コラボレーション
コミュニティ
建設現場の安全
クリエイティブ サービス
製造・組立容易性設計
(DFMA)
デジタル トランス
　　フォーメーション
電気
映画、テレビ
GIS
人間中心設計
知的財産
研究用機器
リーン生産
製造
医療設備
金属加工
モーション キャプチャ
石油、ガス
配管設計
製品設計
製品包装
購入
リアリティ キャプチャ
一般道路、高速道路
シミュレーション
ソーシャル インパクト
雨水、排水
構造エンジニアリング
切削造形法
技術管理
交通
ユーティリティ O&M
視覚効果

水システム
3D 設計
積層造形
空港
アセット管理
BIM
建築物設計
建築物維持管理
土木工学
商業建築
施工管理
家電
データ管理
デザイン思考
デジタル ツイン
エネルギー分析
ゲーム
グラフィック デザイン
没入型デザイン
在庫管理
土地計画
工作機械
船用機器
MEP エンジニアリング
鉱業
モーション グラフィックス
運営、メンテナンス
プラント設計
製品エンジニアリング
プロジェクト管理
鉄道設備
地域計画
ロボット
サイト設計、解析
ソフトウェア開発
ストーリーボード
構造組立
持続可能性
電気通信
トンネル設計
ユーティリティ プロジェクト
計画

可視化
ウェアラブル デバイス
3D モデリング
広告
アニメーション
拡張現実(AR)
バイオテクノロジー
建築設備
CAD 管理
クライアント管理
民間防衛
施工モデリング
コンシュマー製品
設計の自動化
設計の視覚化
分布
エンジニアリング サービス
ジェネレティブ デザイン
グリーン ビルディング
インダストリアル デザイン
アイソメ図面
レーザー スキャン
メーカー
マス カスタマイゼーション
MEP 製造
モデリング
映画
紙、プラスチック
点群
製品ライフサイクル管理
プロジェクト ベースの学習
鉄道設計
レンダリング
セールス エンジニアリング
スマート ビルディング
調達
構造解析
構造シミュレーション
システム統合
繊維、皮革
都市設計
仮想設計、施工

ウォータースルー
3D プリント
航空宇宙
衣料
自動車 OEM
橋
建物オーナー
キャラクター デザイン
クラウド サービス
商用電化製品
施工監理
収束
デザイン コラボレーション
デジタル プロトタイプ
DIY
製作
地理空間
ホスピタリティ
計装
IT
リーン コンストラクション
管理
医療機器
MEP シミュレーション
モジュール工法
天然資源
写真測量
プレハブ工法
製品製造
出版
ラビッド プロトタイピング
住宅建築
回路図
スマート シティ
鋼構造の詳細設計
構造設計
変電所の計画、設計
テクニカル サーフェス
交通シミュレーション、解析
都市計画
バーチャル リアリティ
水シミュレーション